

第7回甲信地区2国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

1. 議事概要

開催日時及び場所	令和5年8月22日（火）13:30～16:34 山梨大学甲府キャンパス本部管理棟第1会議室		
委 員	委員長 近藤 徹 （弁護士） 委 員 阿部 和久 （大学教授） 委 員 田中 佑幸 （公認会計士・税理士）		
審 議 対 象 期 間	令和4年7月1日～令和5年3月31日		
抽 出 案 件（合計）		3件	（備考）
工 事（小計）		2件	
一般競争入札（政府調達に関する協定対象工事）		件	
一般競争入札（上記工事を除く）		2件	
工事希望型競争入札		件	
通常指名競争入札		件	
随意契約		件	
設計・コンサルティング業務（小計）		1件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）		件	
一般競争入札		1件	
随意契約		件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	別紙のとおり		

2. 確認事項

審議に先立ち、委員3名全員の出席により、審議が成立することを確認した。また、委員の互選により、近藤委員を委員長として委員会審議を進めることとした。

引き続き、事務局から、審議対象期間「令和4年7月1日～令和5年3月31日」の間に契約した案件の中から、委員会実施要項に基づき、あらかじめ田中委員に審議対象案件の抽出を依頼し、3件を抽出していただいた旨を説明した。

（内訳）

・工事：2件

・設計・コンサルティング業務：1件

3. 審議事項〔進行:委員長〕

3-1) 点検対象事業及び点検対象事項(信州大学)

信州大学から審議対象期間に発生した1者応札、高落札率案件等について、概要、分析及び今後の改善策について資料に基づき説明があった。	
意見・質問等	回答
信州大学(松本)医学部倉庫とりこわし工事について 低落札率(34.99%)となった要因は何か。 この落札率だと不法投棄が心配だがどのように確認しているか。 予定価格算出において、専門業者2社から見積もりを徴したということだが、乖離した見積が出てきた場合はどのように対応するのか。	工事資材を自己所有することによるレンタル費用削減と廃棄物を自社分別の上リサイクルすることによる廃棄費用削減により、予定価格より大幅に安価な入札になったものである。 マニフェストにより確認している。 ケースバイケースだが、例えば廃棄物の自社分別・リサイクルを条件とした参考見積を採用するのが公平な競争条件となるか検討する必要があるため、単純に安い方を採用とはならないと考える。

3-2) 点検対象事業及び点検対象事項(山梨大学)

山梨大学から審議対象期間に発生した1者応札、高落札率案件等について、概要、分析及び今後の改善策について説明があった。	
意見・質問等	回答
1者応札や不落随契が多く感じるが、要因は何か。また、その際に業者ヒアリングは実施しているか。	1者応札について、資料請求があったが入札に参加表明がなかった業者に対し、ヒアリングを実施している。ヒアリングを実施したところ、配置予定技術者が不足しており、参加を見送るものであった。そのため、1者応札となったと考えている。なお、ある業者とのヒアリングでは、2年先の工事の予定が既に立てられている状況でもあるとのこと。

3-3) 工事(信州大学)

【信州大学 (伊那) 基幹・環境整備(排水設備等)工事】 一般競争入札(総合評価方式)

信州大学から資料に基づき、概要説明があった。	
意見・質問等	回答
1者応札となっているが辞退した業者にヒアリングは実施したか。	実施していない。
辞退した業者は地元業者か。	地元業者である。
低入札価格調査を行っており、「協力会社から特別な協力を得ることが可能(安価な見積協力)」となっているが、その見積もりの確認は行ったか。	見積の確認は行っていない。
「低入札調査基準価格」というものがある以上、1円でも下回ったら業者の申請以上の調査が必要ではないか。	特別重点調査の対象ではない場合、業者に契約の意思があり、適正な施工が不可能な理由が認められなければ、基本的に契約を行っている。 ※本件は特別重点調査の対象ではない※
1者が辞退した1者応札で低入札価格調査というのは珍しいケースであり、特別な要因があったことも考えられるので、辞退した業者にヒアリングを実施した方が良かったのではないか。	最近不調・不落が増えてきたため、このようなケースに限らず今後はヒアリングを実施したいと考えている。

3-4) 工事(山梨大学)

【山梨大学(医病他)ライフライン(特高受変電設備)再生工事】 一般競争入札(総合評価方式)

山梨大学から資料に基づき、概要説明があった。	
意見・質問等	回答
本件に限らず不落随契が多いが、どうしてか。	予定価格は、文部科学省公共建築工事積算基準に基づき、算出しているところ。不落の原因は、ヒアリング等の結果から以下の2要因だと考えている。 要因① 東京オリンピックなどにより、県内拠点が減っていることを聞いている。そのため、他都県か

1 回目入札価格が税抜 5.8 億円であり、不落随契は税抜 5.5 億円である。適切な施工は可能なのか。 1 者応札となった要因はなにか。	ら職人を集める必要があり、人件費に、交通費や宿泊費が加算されてしまう。 要因② 定期刊行物の物価資料や積算資料は、市場価格への反映が遅いため、価格に差異が生じていることも考えられる。 業者として、施工不可な入札額にはしないと考えている。他の案件においても、2 回目の入札で辞退する業者もいるため、本件については、適切な入札額であり、適切な施工が可能であると考えている。なお、現在本件については、施工が進んでいるが、工事も適切に行われている。 技術者不足のためである。
---	---

3-5) 設計・コンサルティング業務(山梨大学)

【山梨大学(武田1他)基幹整備(空調設備)設計業務(その1)】 一般競争入札(総合評価方式)

山梨大学から資料に基づき、概要説明があった。	
意見・質問等	回答
価格評価点と技術評価点の内容を教えてください。 低入札価格調査を設定した方がよいと考えているが、なぜ設定しなかったのか。 今回、第1回入札で落札となっているが、応札2者の価格が税別 2,200 万円と 4.412 万円と倍以上異なっている。このことについて、入札参加者へのヒアリングは実施したか。また、予定価格や応札者への伝え方は適切だったか。	資料提示にて回答を行った。 一般的な設計業務は、公表されている官庁施設の設計業務等積算基準により、業者も算出しており、本学でも、官庁施設の設計業務等積算基準により積算しているため、特に設定していなかった。 予定価格は、官庁施設の設計業務等積算基準により積算しているので、適切だったと考えている。入札参加者へのヒアリングは実施していないが、今後の公告の際には、金額に差異が生じないように仕様書等の内容などを改善したいと考えている。

4. 委員による講評打合せ

別室にて委員による講評打合せを行った

5.【講 評】（意見の具申又は勧告を含む）

指摘事項:なし

全体として、入札手続き自体は、特に問題なく行われている。今回から加わった新しい資料「点検対象事業及び点検対象事項」については、審議を行うにあたってわかりやすく、また両大学の入札手続き改善に資するので今後とも続けて頂きたい。

個別意見:

【点検対象事業及び点検対象事項(信州大学)】

予定価格算出のために参考見積書を複数徴収した際、それらの価格が乖離した際に単純に安価なものを採用するのではなく、検討の上採用するようにして頂きたい。

※今回当てはまるものはないが、今後そのようなことも考えられるため※

【点検対象事業及び点検対象事項(山梨大学)】

発注見通しが入札公告に先行するよう手続きを進めて頂きたい。

【信州大学（伊那）基幹・環境整備(排水設備等)工事】

低入札価格調査の対象となった本件について、下請け業者への圧力が発生していないかが気になる。低入札価格調査対象業者から「入札事情説明書」等を徴するだけではなく、何らかの調査を行っても良いのではないかと。また、本件は入札辞退、1者応札、低入札と3件が重なった珍しいといえる事例なので、今後このような場合は辞退業者へのヒアリングを行って頂きたい。

【山梨大学(医病他)ライフライン(特高受変電設備)再生工事】

本件に限らず、不落随契が多い。予算面や制度上の制約から困難かもしれないが、より適時な予定価格となるよう努めて頂きたい。また、最近の資材の調達価格の上昇や人件費増について、予定価格算出の際の基準(あるいは補助金額算定の基準)が、最新の状況に追いついておらず、そのため不落随契が多発していることについて文科省に上申してほしい

【山梨大学(武田1他)基幹整備(空調設備)設計業務(その1)】

また、入札価格が倍違うのは仕様書の内容がよく伝わっていない可能性があるため、より伝わる工夫はないか検討し改善を行ってほしい。